

NPO法人佐倉市民後見人協会の紹介

NPO法人佐倉市民後見人協会（以下、佐倉市民後見人協会）は、2013年（平成25年）に開催した佐倉市市民後見人養成講座の第1期修了生が中心となって設立され、成年後見制度に関わる事業を行う団体です。

養成講座終了後の翌年に任意団体として発足し、会員の多くが佐倉市社会福祉協議会（以下、社協）の法人後見事業の支援員や、日常生活自立支援事業の生活支援員として活動する中、会員の内2名が社協との複数後見人として受任し、活動をしてきました。

2018年（平成30年）にNPO法人化され、2021年（令和3年）には、社協が法人として受任していた2件の成年後見人を引き継ぐ形で、法人後見の受任がスタートしました。引継ぎにあたっては、社協が監督人となり、毎月の報告会を行っています。県内でも先駆けとなる活動を、市民が新しい形の法人後見事業として確立してきました。現在、第2期の養成講座が終了し、新たな仲間も加わり、これからも佐倉市民後見人協会にはさらなる躍進を期待します。

ゆっくりではありますが、地域共生社会実現のため、佐倉市民後見人協会と関係機関が協力し、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていく」ために歩みを続けていきます。